

2018年度本決算説明（総括）

2019年2月13日

株式会社 クラレ

2018年度実績

	当期実績	前年同期実績	増減
売上高	6,030億円	5,184億円	845億円(16.3%)
営業利益	658億円	764億円	▲105億円(▲13.8%)
経常利益	612億円	742億円	▲130億円(▲17.6%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	336億円	545億円	▲208億円(▲38.4%)

参考

円/ドル	110	112
円/ユーロ	130	127
国産ナフサ価格 (千円/kl)	51	39

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、前年同期の数値は遡及修正しています。

* 18年度の実績にはCalgon Carbon社の業績が含まれています。

2018年度の主要施策実績

「PROUD 2020」の主要経営戦略に基づき下記の施策を実施

競争優位の 追求

- ◆ 光学用ポバールフィルム、市場ニーズに合わせた設備投資を決定
- ◆ PVBフィルム、韓国工場で高機能フィルム生産能力増強を実施
- ◆ 水溶性ポバールフィルム、米国における生産能力増強完了
および米国新工場建設の投資決定
- ◆ <エバール> 米国における生産能力増強 + 11,000トン/年稼働開始
- ◆ イソプレン、タイ新プラント建設の投資決定
- ◆ 新設コーポレートマーケティンググループによる
ターゲット領域の設定、および横串ワークの始動

新たな事業 領域の拡大

- ◆ 液晶ポリマーフィルム<ベクスター>、需要増に対応した
生産能力増強を実施
- ◆ バイオマス由来のバリア材<プランティック>の事業拡大を目指し、
米国における樹脂生産設備の投資を決定

グループ 総合力強化

- ◆ カルゴン・カーボン社の統合を推進
- ◆ グローバルSAPシステムの導入
- ◆ 働き方改革の取組み強化
→ 業務効率化の推進、
在宅勤務制度を導入

2019年度通期業績予想

	2019年度予想	2018年度実績	増減
売上高	6,300億円	6,030億円	270億円
営業利益	790億円	658億円	132億円
経常利益	750億円	612億円	138億円
親会社株主に帰属 する当期純利益	470億円	336億円	134億円

国産ナフサ／kl

43千円

51千円

ドル（平均）

110円

110円

ユーロ（平均）

130円

130円

競争優位の 追求

- ◆ <エバール> 新プラントの投資検討
- ◆ 水溶性ポバールフィルム、新工場の建設立地および投資検討
- ◆ イソプレン、タイ新プラントのプロジェクト推進
- ◆ カルゴン・カーボン、米国における能力増強の投資検討
- ◆ メルトブローン不織布、生産能力増強の決定
- ◆ IoTを活用した生産効率、および品質向上への取り組み強化

新たな事業 領域の拡大

- ◆ 液晶ポリマーフィルム<ベクスター>、本格量産設備の投資検討
- ◆ コーポレートマーケティング機能の強化による
新領域の探索、および新用途の創出

グループ 総合力強化

- ◆ カルゴン・カーボン事業の統合推進及び、シナジーの具現化
- ◆ 働き方改革の推進

**18年度：42円/株予定
(中間：20円、期末：22円)**

- 自己株式取得について
 - ・ 2018年度実績(2018年5月16日～6月4日)
 - 取得株式総数：2,200,000株 株式取得総額：3,728,894,000円

**19年度：42円/株予定
(中間：20円、期末：22円)**

- 自己株式取得について
 - ・ 2019年度予定(2019年2月14日～12月26日)
 - 取得株式上限数：500万株 株式取得上限額：100億円

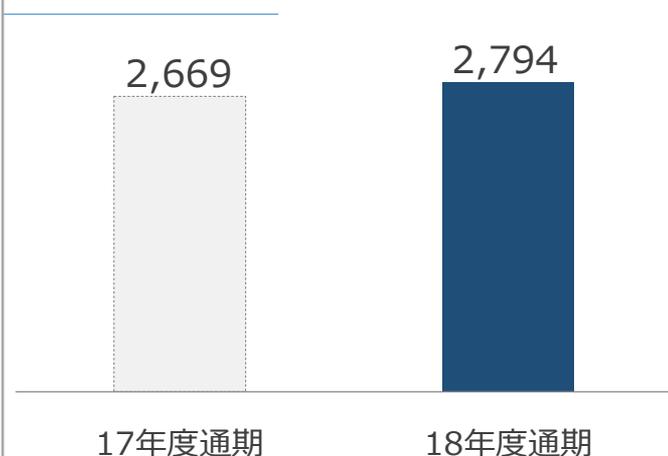
2018年度決算説明

2019年2月13日

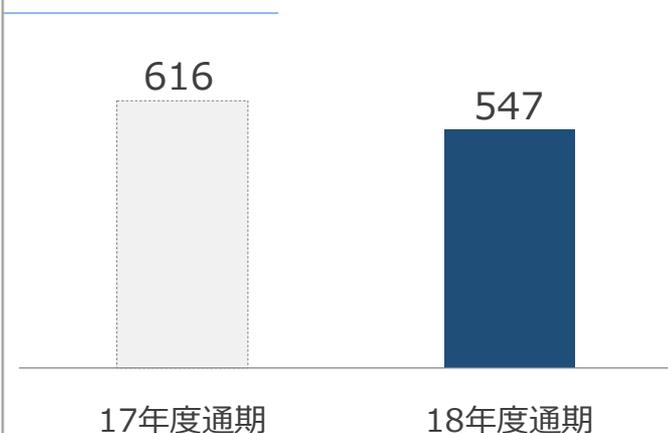
株式会社 クラレ

ビニルアセテートセグメントの概要

売上高（億円）



営業利益（億円）



■ ポバール樹脂

販売量減少も、高付加価値化が進み堅調に推移。

■ 光学用ポバールフィルム

需要の順調な伸びにより、販売量が増加。
倉敷事業所での新設備投資（2019年末稼働予定）を決定。

■ 水溶性ポバールフィルム

販売量が増加したが、原燃料価格上昇の影響を受けた。

■ PVBフィルム

販売量が増加したが、原燃料価格上昇の影響を受けた。

■ <エバール>

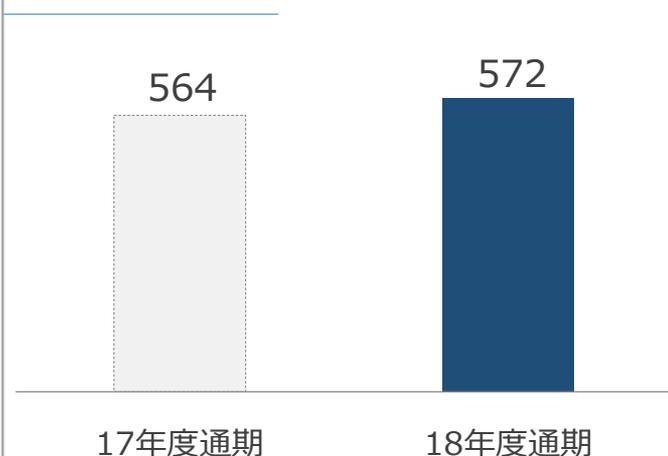
米国工場における定期修理、2018年5月に発生した火災の影響を受けた。

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し17年度通期の数値は遡及修正しています。

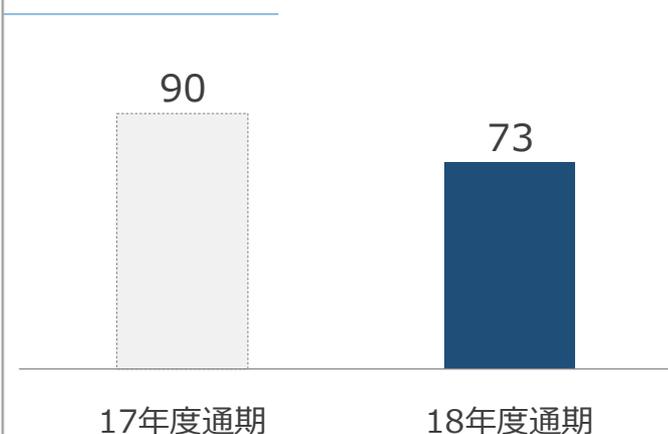
* 有形固定資産の減価償却方法と耐用年数、及び全社共通費の配賦方法の変更により、18年度通期の営業利益はマイナスの影響を受けました。

イソプレンセグメントの概要

売上高（億円）



営業利益（億円）



■ イソプレン

年度を通じて原燃料価格上昇の影響を受けたことに加え、年度後半にかけて出荷が減少し販売量は前期並となった。

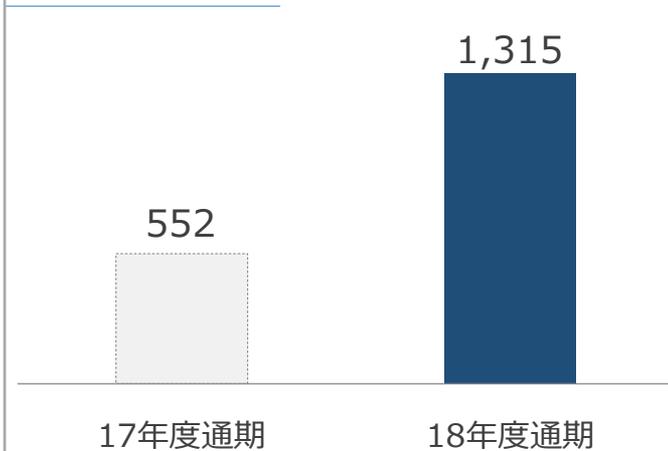
■ <ジェネスタ>

自動車用途、コネクタ用途を中心に販売拡大も、原燃料価格上昇の影響を受けた。

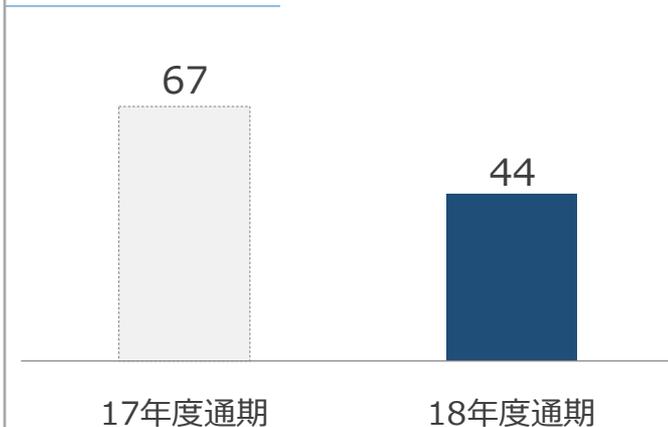
* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し17年度通期の数値は遡及修正しています。

機能材料セグメントの概要

売上高（億円）



営業利益（億円）



■メタクリル

好市況が継続したことに加え、高付加価値品の販売が拡大し順調。

■メディカル

歯科材料の審美修復関連製品を中心に順調に推移。

■炭素材料

汎用用途の販売量が減少。

■カルゴン・カーボン

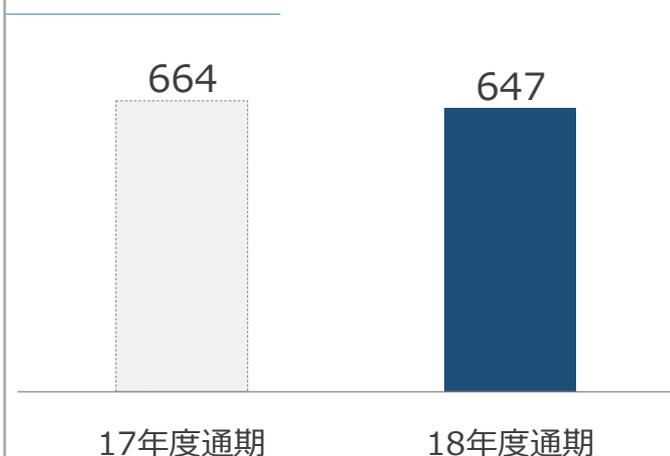
18年度末に確定したのれん償却額等の影響を受けた。

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し17年度通期の数値は遡及修正しています。

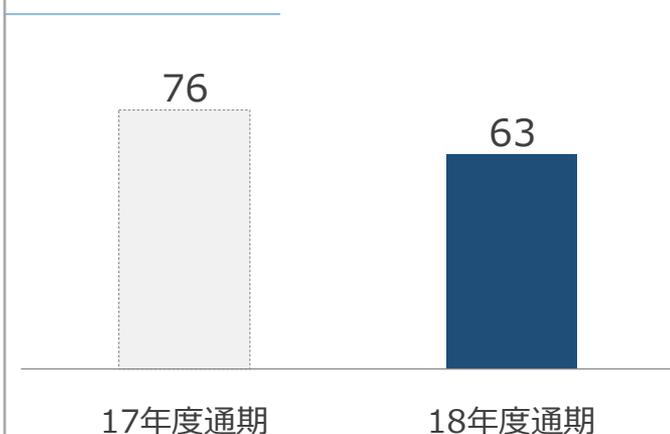
* 18年度通期の実績にはCalgon Carbon社の業績が含まれています。

繊維セグメントの概要

売上高（億円）



営業利益（億円）



■ <クラリーノ>

スポーツシューズ向け出荷が減少したが、ラグジュアリー用途の販売量が増加した。

■ 繊維資材

ビニロンの輸出が減少したことに加え、原燃料価格上昇の影響を受けた。

■ 生活資材

<クラフレックス> で高付加価値品の販売が拡大。

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し17年度通期の数値は遡及修正しています。

* 18年度1Qからの組織体制変更に伴い、17年度通期の数値には<クラリーノ>を含めています。

セグメント別売上高・営業利益

[億円]

	2018年度		2017年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	2,794	547	2,669	616	125	▲69
イソフレン	572	73	564	90	8	▲17
機能材料	1,315	44	552	67	763	▲23
繊維	647	63	664	76	▲17	▲13
トレーディング	1,388	42	1,317	39	71	3
その他	580	12	514	30	66	▲18
調整額	▲1,267	▲123	▲1,095	▲154	▲172	31
合計	6,030	658	5,184	764	845	▲105

* 当表ではクラリーノ事業のセグメント区分変更後の18年度実績と17年度組み替え実績を対比しています。

* たな卸資産のうち製品、原材料及び仕掛品の評価方法を先入先出法に統一し、17年度実績の数値は遡及修正しています。

2018年度特別損失

	18年度実績	主な内容
減損損失	67億円	バイオマス由来のバリア材 <プランティック> ほか
災害損失、 操業休止関連費用	31億円	米国エバール工場の火災影響 ほか
買収関連費用	10億円	カルゴン・カーボン社買収関連
その他	7億円	
合計	115億円	

2018年度キャッシュフロー

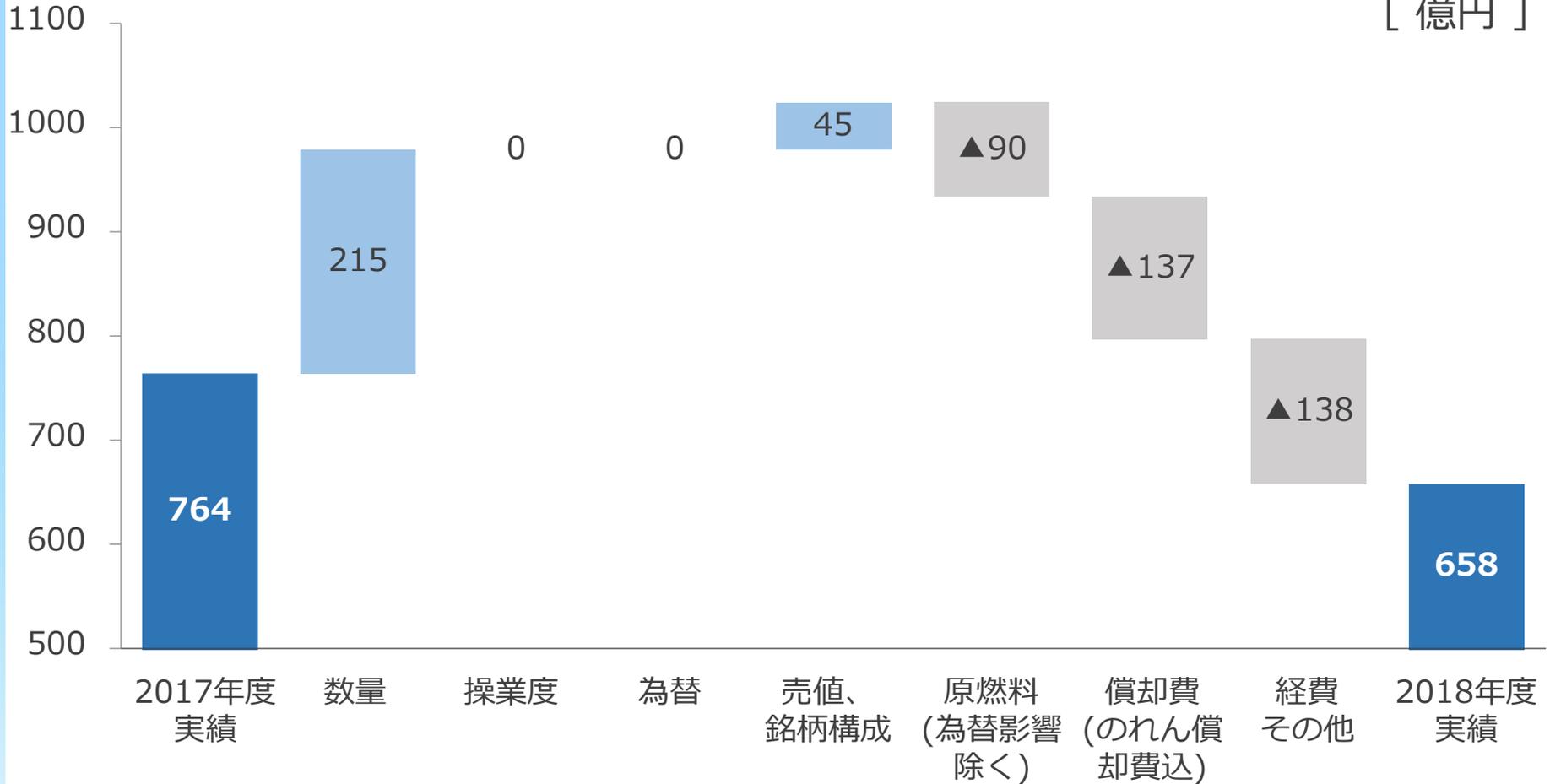
[億円]

	2018年度	2017年度	増減
営業CF	752	846	▲94
投資CF*	▲676	▲580	▲96
フリーCF*	76	266	▲190
M&A	▲1,198	0	▲1,198
1株当たり当期純利益	96円05銭	154円85銭	▲58円80銭 (▲38.0%)
1株当たり純資産	1,592円96銭	1,587円60銭	5円36銭 (0.3%)
設備投資(決定ベース)	1,460	547	913
設備投資(受入ベース)	668	545	123
減価償却費	567	430	137
研究開発費	212	210	2

*投資CF、フリーCF：運用資金、M&A関連を除く

営業利益増減分析①

[億円]



	17年度実績	18年度実績
国産ナフサ/kl	39千円	51千円
ドル (平均)	112円	110円
ユーロ (平均)	127円	130円

営業利益増減分析②

2017年度実績

764億円

カルゴンカーボン社（C社）連結影響 ▲ 30

エバール米国工場火災影響 ▲ 40

数量・操業度（C社連結影響除く） + 60

交易条件（原燃料・売値・為替） ▲ 45

経費その他（C社連結影響除く） ▲ 50

▲ 105億円



2018年度実績

658億円

原料及び為替

	17年度実績	18年度実績
国産ナフサ/kl	39千円	51千円
ドル（平均）	112円	110円
ユーロ（平均）	127円	130円

貸借対照表①(資産の部)

[億円]

	18年12月末	17年12月末	増減
流動資産	3,987	3,605	382
固定資産	5,484	4,163	1,321
資産合計	9,471	7,767	1,704

<参考> 期末日為替レート

	18.12末	17.12末
円/ドル	111	113
円/ユーロ	127	135

貸借対照表②(負債の部)

[億円]

	18年12月末	17年12月末	増減
流動負債	1,448	1,081	367
固定負債	2,353	1,032	1,321
負債合計	3,801	2,112	1,688
純資産合計	5,670	5,655	15
負債・純資産合計	9,471	7,767	1,704

<参考> 期末日為替レート

	18.12末	17.12末
円/ドル	111	113
円/ユーロ	127	135

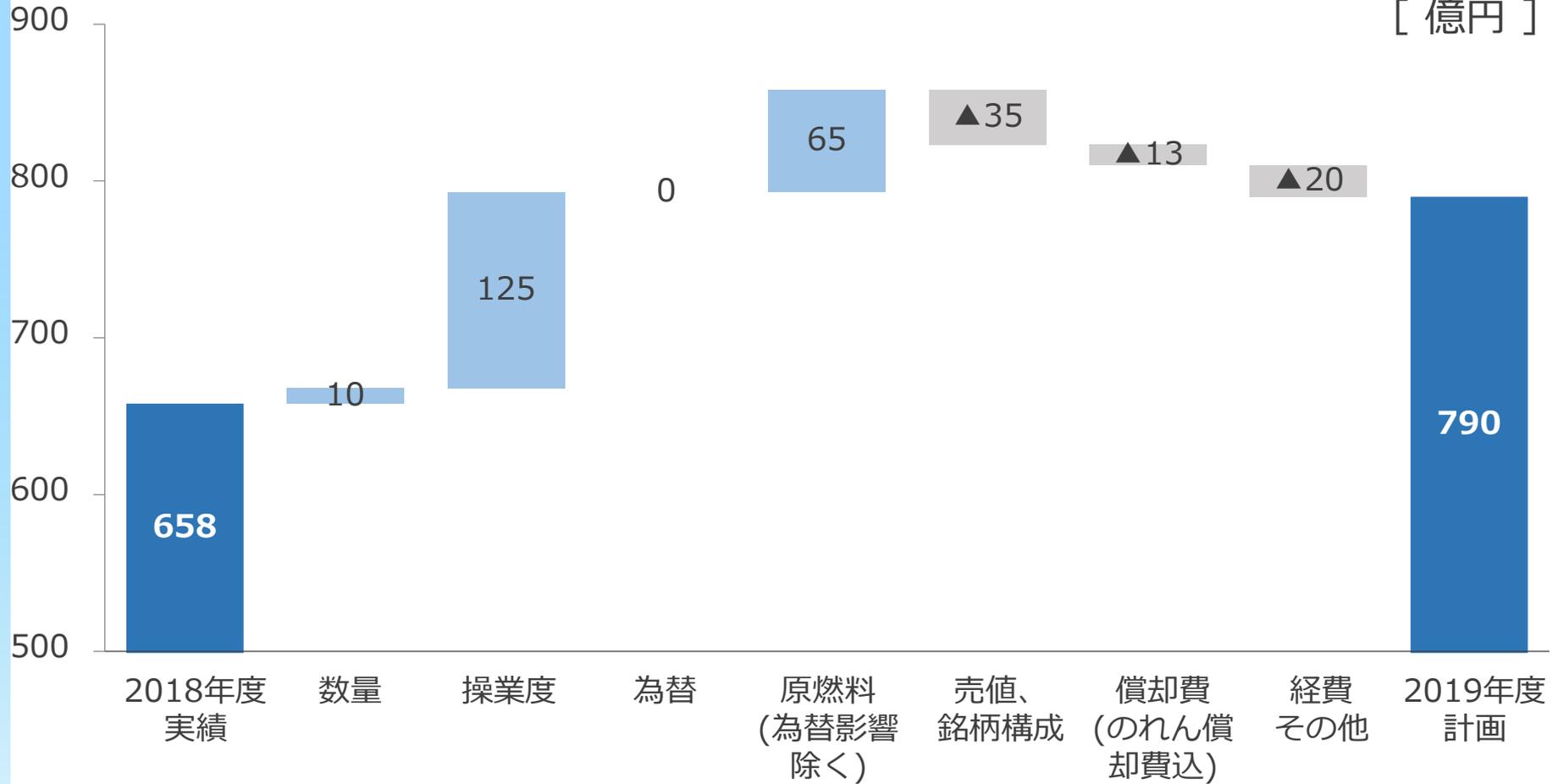
2019年度業績予想

[億円]

	2019年度 通期予想	2018年度 通期実績	増減
売上高	6,300	6,030	270
営業利益	790	658	132
経常利益	750	612	138
当期純利益	470	336	134
1株当たり当期純利益	134円79銭	96円05銭	38円74銭
1株当たり配当	42円	42円	0円
設備投資(決定ベース)	1,000	1,460	▲460
設備投資(受入ベース)	1,030	668	362
減価償却費(のれん償却費込)	580	567	13
研究開発費	225	212	13

営業利益増減分析

[億円]



	18年度実績	19年度前提
国産ナフサ/kl	51千円	43千円
ドル (平均)	110円	110円
ユーロ (平均)	130円	130円

セグメント別売上高・営業利益

[億円]

	2019年度 通期予想		2018年度 通期実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	2,950	640	2,794	547	156	93
イソブレン	600	85	572	73	28	12
機能材料	1,380	60	1,315	44	65	16
繊維	680	70	647	63	33	7
トレーディング	1,450	45	1,388	42	62	3
その他	580	15	580	12	0	3
調整額	▲1,340	▲125	▲1,267	▲123	▲73	▲2
合計	6,300	790	6,030	658	270	132

【ご参考】 2019年度業績予想

[億円]

	19年度予想		18年度実績		増減	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	3,120	3,180	3,014	3,016	106	164
営業利益	385	405	382	276	3	129
経常利益	365	385	365	247	0	138
当期純利益*	230	240	238	98	▲8	142

*親会社株主に帰属する当期純利益

【ご参考】 2019年度セグメント別予想

[億円]

	売上高			営業利益		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ビニルアセテート	1,470	1,480	2,950	310	330	640
イソプレン	300	300	600	50	35	85
機能材料	680	700	1,380	30	30	60
繊維	340	340	680	30	40	70
トレーディング	700	750	1,450	22	23	45
その他	290	290	580	5	10	15
調整額	▲660	▲680	▲1,340	▲62	▲63	▲125
合計	3,120	3,180	6,300	385	405	790

【ご参考】セグメント別売上高

[億円]

	2019年度 通期予想		2018年度 通期実績		増減	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
ビニルアセテート	1,470	1,480	1,378	1,415	92	65
イソプレン	300	300	289	283	11	17
機能材料	680	700	653	662	27	38
繊維	340	340	335	313	5	27
トレーディング	700	750	684	704	16	46
その他	290	290	292	288	▲2	2
調整額	▲660	▲680	▲618	▲650	▲42	▲30
合計	3,120	3,180	3,014	3,016	106	164

【ご参考】セグメント別営業利益

[億円]

	2019年度 通期予想		2018年度 通期実績		増減	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
ビニルアセテート	310	330	290	258	20	72
イソプレン	50	35	48	24	2	11
機能材料	30	30	38	6	▲8	24
繊維	30	40	33	30	▲3	10
トレーディング	22	23	21	21	1	2
その他	5	10	7	5	▲2	5
調整額	▲62	▲63	▲55	▲68	▲7	5
合計	385	405	382	276	3	129

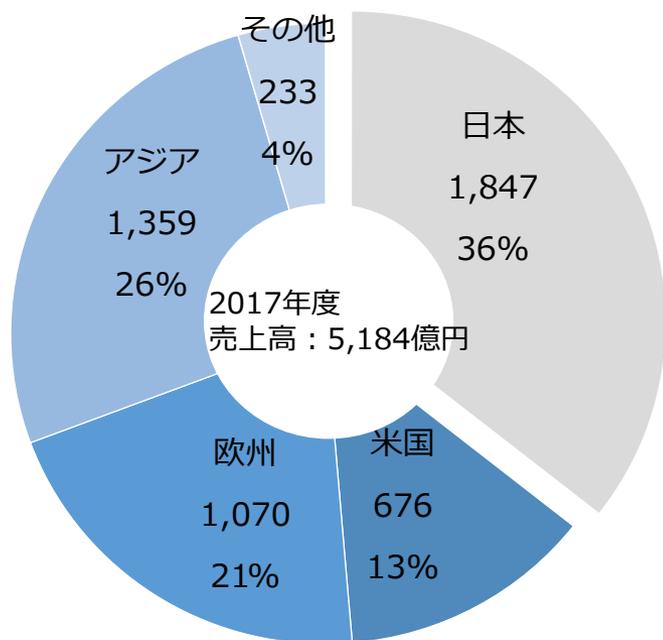
【ご参考】 2018年度海外売上高比率

カルゴンカーボンの新規連結により、海外売上高比率が更に上昇

[億円]

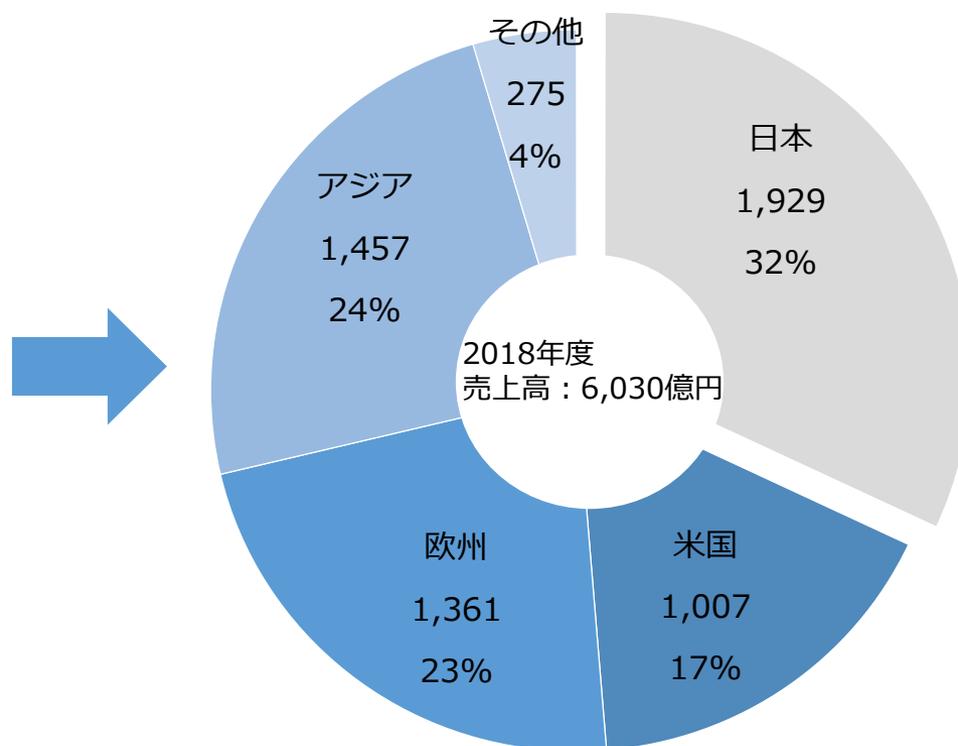
2017年度

海外売上高比率：64%



2018年度

海外売上高比率：68%



未来に化ける新素材。

kuraray

金額表示は億円未満四捨五入にしております。

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。